

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和5年1月22日

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	一般社団法人 四万十市観光協会			代表者名	小松 昭二
担当者部署				連絡先電話番号	0880-35-4171
担当者役職	専務理事	担当者氏名	山脇 一臣	連絡先E-mail	
住所	787-0014 高知県四万十市駅前町8-3				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	四万十市	連絡先部署	観光商工課		
担当者氏名	田村 典義	連絡先電話番号	0880-34-1783	連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	3回目は、前回を踏まえて課題の指摘があり、例をあげ四万十市の状況にあった解決策を提示していただけました。また、今後の進め方についても最善だと思われる進め方をアドバイスしていただけました。
アドバイザーへの要望事項	問題を解決するには、早急には難しく長期的な取り組みが必要です。その際にご相談にのっていただければと思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年11月10日	講演(実地)	有	令和5年1月11日	491
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和5年1月12日	支援・助言(実地)	10時30分	16時00分	60
				活動時間(分)	270
3-2. 派遣場所	会場名	下田地区	最寄駅	中村駅	
	所在地	高知県四万十市	最寄駅からの交通手段	地元サイドの車両	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市役所、観光協会、市内事業者	5人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	四万十川が「重要文化的景観」に選定され、普及・啓発事業の実施や、小京都関連イベント等も実施されてきた。そうした活動過程の中で民間グループ等と行政の協働活動も行われているが、「景観」等の地域資源を有効に活用しきれていない地域がある。そのような地域の埋もれた資源を有効的に活用できる方向性の検討を行い、新たな観光商材の開発に結びつけたい。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	四万十市にあるこれまで知られていなかった地域の歴史や文化を掘り起こし、観光資源(サイクリングコースの造成等)としてブラッシュアップしたいと考えており、将来的には下田地域の活性化をモデルケースとして、その他の地域にも応用していきたい。
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	下田地区を活性化させるために必要な誘客プランを作る必要があるが、下田地区に限らず四万十市全体を考えた観光滞在時間が短いことが問題だと思われる。季節なら冬、時刻なら夜のコンテンツが特に弱い。季節の弱さを改善することは難しいので、まずは夜の改善を試みられてはどうかとの提案があり、事例を3種類紹介していただいた。また、中長期滞在型宿泊プランの造成例を示していただいた。最後に活用できる補助事業事例の紹介をしていただいた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	下田地区の現状をアドバイザー視点から見ていただいたうえで、短期間での改善は難しいとの結論をいただいた。まず下田地区の観光ビジョンと戦略を立てる必要があるが、その下地となる主体者の連携と目的の共有化が最優先であることがわかった。

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	目的に掲げている「文化観光まちづくりプラン」の作成にあたり、最優先課題として主体者の連携が必要であることがわかった。今後の進め方として、下田地区で主体となる事業者の方々の連携をはかれる機会をつくり方向性の共有化をはかっていく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は「計画素案の策定」を目指しており、アンケートは実施しない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	下田地域の活性化と、並行展開が可能な「文化観光まちづくりプラン」の作成	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

